

日本インターベンショナルラジオロジー学会 2021年度 Bayer 国際交流促進制度のご案内 －IVR関連国際学会フェローシップ－

理事長 山門亨一郎

日本IVR学会では、2021年度IVR関連の国際学会参加を助成するBayer国際交流促進制度への応募を下記の通り募集いたします。

本制度は本邦におけるIVRの発展に寄与する会員の育成を目的とし、海外における学会参加および発表の機会を広く提供し、国際交流を促進させるためのものです。

《日本IVR学会－2021年度Bayer国際交流促進制度応募要項》

【目的】 本学会の会員諸氏に対する教育研修事業の一環として、会員の国際学会への参加および国際交流を促進させることを目的とする。

【資格】 1) 日本IVR学会会員であること。ただし、会員歴3年以上で満45才以下(2022年1月1日現在)。
2) IVRについて、基礎、臨床の分野で研究している、もしくは興味のある会員であること。
3) 指定の国際学会参加に必要な語学力を備えていること。
4) 今年度会費を納入していること。
5) 参加する助成対象学会の筆頭演者(発表者)であること。

【募集人数】 若干名

【学会開催時期】 原則として毎年度4月から翌年3月

【助成対象学会】 今回の募集は下記の国際学会を対象として助成する。

ECR (European Congress of Radiology)	2022年3月2～6日(ウィーン, オーストリア)
SIR (Society of Interventional Radiology)	2022年6月11～16日(ボストン, 米国)
※ 2022年のAPSCVIRは「JSIR&ISIR&APSCVIR 2022」として国内(神戸)にて開催されますため、対象外とさせていただきます。	

【支給額】 本学会が指定した上記のIVR関連学会への発表に対してその渡航費用等の諸経費の一部を補助する。原則として1人、1回あたり20万円とする(但し、Web参加の場合は5万円)。

【選考方法】 会告に基づいて、本人からの応募により本学会理事会にて厳正に候補者を選考し、その結果を本人ならびにニュースレターに公表する。

【応募要項】 1) 応募方法：IVR学会ホームページより所定の応募用紙をダウンロードし、氏名、生年月日、会員番号、所属施設、所属科、メールアドレス、参加学会名、現地参加/Web参加の別、演題名、抄録を入力の上、メール添付にてお送りください(演題名と抄録は応募時点のもので構いません)。メールの件名は「2021年度Bayer国際交流促進制度応募」としてください。応募メールを受理しましたら、事務局より確認メールをお送りいたします。送信から2週間が経過しても確認メールが届かない場合は応募が受理されていない可能性がございますので、必ず事務局にご確認ください。

2) 応募先：office@jsir.or.jp

日本IVR学会 国際交流促進制度事務局宛

応募締切：2022年1月28日(金)必着

【被助成者の義務】 本学会の求めに応じて、ニュースレター等に掲載される参加学会の印象記を提出すること。

【付 記】 一度本助成金を受けたものは、その後の3年間は再応募できない。

本制度の目的は学会発表に際しての渡航費用等の諸経費の一部補助であるため、対象学会の開催状況によっては支給額の変更および助成を中止する可能性があります。